



# 飯能ロータリークラブ会報



桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima



## 世界に希望を生み出そう

RI会長 ゴードン R. マッキナリー

第2570地区ガバナー 高丹秀篤

第3グループガバナー補佐 齋藤栄作

### 希望を語ろう We are Rotary, together

#### 第3108例会 2024. 3. 13

—— 水と衛生月間 ——

天候 晴 (NO. 60-37)

会長 馬場正春 幹事 神田敬文

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 高橋君、土屋君

例会場: ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 ☎ 357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 ☎ 357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 馬場会長
- ・ソング 我等の生業
- ・卓話 増島宏徳会員

#### 【会長報告】

先月、地区の会員増強セミナーで、入会3年未満の会員に書いて頂いたアンケート結果の発表がありました。一番多いのは50代。次が40代、60代。入会を決めたポイントは「推薦者」が68%。ほかに「友達をつくりたい」。入会前のRCのイメージは「敷居が高い」63%。入会後の印象は「仲が良い」「異



業種間の交流が勉強になる」等。満足していること「友達が増えた」62%。不満なこと「情報が流れてこないの自分は何をしたらよいか分からない」。4月の第2回炉辺会談には是非ご参加頂きたいと思っております。退会したいと思ったことがあるか、は「いいえ」が90%でした。ポール・ハリスの妻、ジーン夫人は素晴らしく魅力的な人だったそうです。37年間、夫と共に世界を回り、夫人自身も講演をされたら飯能RCのハンドブックに書いてありました。

#### 【幹事報告】

「文化新聞」に木川一男パスト会長の表彰祝賀の様子が掲載。4月のプログラム、第9回理事会議事録を配付。本日、第5回パスト会長会議。4/3第11回役員理事会(11時半)。「ロータリー手帳」申込は本日締切です。

#### 【委員会報告】

◎次年度幹事

大崎君

4/23・24・25次年度座談会。「理事・役員・委員会構成表」を確認して他の日に変更・欠席の方は出欠票を提出して下さい。4/17次年度第1回パスト会長会議(13:40)。4/21次年度地区協議会「ものづくり大学」10名の出席該当者で都合の悪い方はお申し出下さい



い。「顔合わせ会」出欠は本日まで。

◎親睦活動委員会 天ヶ瀬君  
5/8 夜間例会 18時～会費 7千円。親睦旅行の予約受付はそろそろ締め切ります。

◎出席向上委員会 大野(泰)君  
3/16・17 地区大会の日程を配付。17 (日) 7時集合(飯能駅南口)。よろしくお祈りします。

**【講演会報告】** 川口 S A A  
3/10 「ロータリー希望の風チャリティー講演会」(本庄市民文化会館)に「警察歯科医」として参加してきました。講師は佐々木成三(なるみ)氏(元埼玉県警察本部警部補・犯罪コメンテーター・犯罪評論家)。特殊詐欺はオレオレ詐欺だけではなく、架空請求、還付金詐欺のほか、巧妙になっているキャッシュカード詐欺等あります。「騙され易い人を見つけるテスト」で私は「最も騙され易い人」に当てはまってしまいました。機会がありましたら詳しくお話したいと思います。

**【出席報告】**無届欠席3 大野(泰)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
64名	4名	56名	87.5%

**【M U】**  
3/8 (入間) 矢島(高)君

**【ロータリーの友】** 鳥居雑誌委員  
3月号：横組 P 7、3月は「水と衛生月間」。「トイレ、その先へ」世界の排せつ環境。インドのモディ首相のスローガンは「寺院よりトイレ」。TOTOの取り組み等、トイレ先進国の日本で良かったなと感じました。P 20「感染症との闘い～ポリオ根絶とロータリー」尾身茂氏の講演要旨。縦組 P 4「福島に職住を定めた私～廃炉と復興への思い」。P 9、藤田大さん(富岡 RC)の、震災から 13 年、復興への日々が記事になっています。是非ご覧下さい。

**【S A A 報告】**

◎ニコニコ BOX  
・増島さん、本日卓話よろしくお祈りします。新井君  
・誕生日お祝い有難うございます。内沼君  
・妻の誕生日お祝い有難うございます。吉島君  
・早退します。吉島君  
本日計 7,000 円、累計額 778,501 円。  
◎ 27 日例会当番は都築、鳥居会員です。

**【卓 話】**

## ポール・ハリスの生涯(その10)

飯能 RC 会員選考委員会委員長

増島宏徳会員



ポール・ハリスについての卓話は最初、馬場会長(当時、出席委員長)に頼まれて 2015 年から始めました。いろいろを含めて今までで 10 回目ということになります。今日は、ポール・ハリスが日本に来た時のお話と、オーストラリアまで行った話をしたいと思います。馬場会長の時に 10 回目をやることに感謝致します。

ポール・パーシー・ハリス(Paul Percy Harris)が旅行を始めたことの一つは、インターナショナル・プレジデントになったことと、もう一つは、彼が 3 つの大学に関係していたということがあります。バーモント大学、プリンストン大学、アイオワ大学法学部(ロースクール)のうち、ちゃんと出たのはロースクールぐらいで、あとは途中でいろんな事情があってやめています。プリンストンでは行き違いになったのですがフランシス・ランディ・パットンとのちに出会い、「君のロータリー・ムーブメントは素晴らしい」と言われて、いよいよやる気になって旅行を始めたということです。ヨーロッパへ行って、今度はアジアということで、いよいよ日本に来ます。2 人で写っているのは、パットンが(学長を)辞めて、バミューダで教育のプログラムをやっていた時の写真です。

1935 年、ポールは「プレジデント・クーリッジ号」という、大統領の名前をとった船で、ハワイ島・ホノルルに立ち寄ってから日本に参ります。

1935 年 2 月 9 日早朝、横浜に到着。そして東京へ。二重橋、明治神宮、帝国ホテルにて記念植樹。芝の紅葉館で昼食会。三越、ミキモト真珠、東京会館で歓迎晩餐会。夜行列車に乗車。2 月 10 日早朝、京都に到着。新大阪ホテルで歓迎昼食会。そして夕刻、神戸にて乗船し、マニラへ。

この旅行はマニラで開かれる第 5 回太平洋地域大会に出席する途中で寄ったのですね。このような強行日程になったのは、ホノルルから日本に来る時に海が大変荒れて 3 日位到着が遅くなったためということです。横浜に船が着いたので、ニューグラン



ド・ホテルで小憩しています。二重橋。明治神宮は1920(大正9)年にできています。東京RCの創立総会と同じ時期ですね。そして、帝国ホテル。ここで月桂樹を植えます。この月桂樹は枯れてしまったのですが、今は入口正面を向いて左側に2代目の月桂樹が植わっています。何代目かが皆さんのところにもあると思います。

紅葉館での午餐会。ポール・ハリスは箸を上手に使っていますが、これはあとで出てくる日本人に教えてもらったということです。豪華な食事。お造りが出て、吸い物が出て、お椀物、お鉢物と、高級な日本食。最後にイチゴが出ているのです。1935年に。本当に日本人のもてなしはすごいという感じですね。

三越。ミキモト真珠。東京会館。ここの2階を借り切って、三井の人が日本では中心になっていましたから、三井の守り神・三囲(みめぐり)神社を模した鳥居とその周りは春の景色にしてポールを迎えたということです。徳川家の末裔の方、斎藤実(まこと)前首相、米山梅吉、小林雅一ほか、当時の錚々たるメンバーが写っています。

21時30分、東京発の列車に乗り、翌朝7時50分に京都駅に着いて京都ホテルで朝食。13時、京阪神3RC連合による歓迎昼食会。ここでポール・ハリスに胸像を贈っています。その夜、神戸にて乗船。

京都ホテル。野村別邸「碧雲荘」。二条城では大きな桜を見たときポールは記しています。紀州御殿。大阪城で記念撮影。アメリカからの25名と日本のロータリアンがたくさん写っています。できたばかりのニューオーサカホテルで午餐会。ポールに贈られた胸像です。日本人が作ったもので、本部にあるものとポールの故郷ウォリングフォードにもう1つ。2つあります。贈ったのは1つだったのですが、もう1つ作っていたのですね。戦時中に隠して守っていて、それを息子さんがのちにRCの本部に贈ったということだそうです。台座には「神戸、京都、大阪、東京、横浜のRCから贈った」等と書いてあります。一緒に来日した米国・コロンビアRCの、ロバートE.リー・ヒル(RI会長)には七宝の焼き物が贈られ、その他の人には盾が贈られました。全てウォリングフォードにあります。写真にはフランス語で「船の上でのディナー」と書いてあります。これは大阪だと思います。

そして、ポールはマニラに行きます。日本のメンバーも一緒にクーリッジ号に乗って行きました。マニラに向かう船内で、川崎芳熊・令嬢敏子さんと小曾根貞松・令孫淳子さんから、花束と絵日傘がハリスとヒル両夫人

に贈られ、大いに喜ばれたという記念写真です。上海に行って、マニラまで船を乗り継いでいます。上海のガーデンパークで撮った写真。マニラはアジアで一番最初のRCなのです。そこで2月18日から20日まで行われたのが大会です。マニラRCは1919年にできています。日本より1年先ですかね。

それから今度はオーストラリアへ「北野丸」という日本の船で行きました。「北野丸」のメニューは裏が(封筒と便箋が一体の)手紙用紙になっていて、ポールはこれを使ってチェスリー・レイノルズ・ペリー(RI事務総長)に書簡を送っています。ブリスベン。ポールの妻はイギリスでは「ジェイン」ですがアメリカでは「ジーン」。オーストラリアをいろいろ回ります。ノース・シドニー。タスマニア州ホバート。ホールドアップさせる手荒い歓迎の様子です。

1935年4月、ニュージーランドへ行きます。クライストチャーチ。日本人留學生が地震で多数亡くなりました(2011年)。ポール・ハリス夫妻にマウイ族の木彫の箱が贈られました。食事をし講演もしています。市長に会っているところ。そして帰国します。

今度は南米へ。第26回のコンベンションがメキシコで開催されました。1935年6月17日、メキシコシティ。動画も残っています。1936年、アルゼンチン・ブエノスアイレス。次にブラジル・リオデジャネイロ。1936年、ペルー・リマ。そして帰国します。

「プレジデント・クーリッジ号」はその後、戦争中に沈没して今も沈んだままだということです。アメリカに帰り、そのあと第28回のコンベンションでフランス・ニースに行きます。この時は5790名の出席者があったとのこと。ポールはフランスで勲章を貰いました。もうかなりの年齢にはなっていました。サウスアメリカのことで表彰を受けたということです。

ポールはいろんな国を回って、インターナショナル・プレジデントとして、ロータリーを広めていったということですね。ポール・ハリスは意外とひ弱で、長いヨーロッパの旅行や日本への旅行の前にも心臓の病気でかなりの間、療養していました。その後、書物によるとインフルエンザをこじらせて78歳で亡くなったということです。それもまた次の時にお話をしたいと思います。

